別紙2

しきなみ子供短歌コンクールへ挑戦！

※低学年のみなさんは、先生やおうちの方といっしょに読んで、作品をつくってみましょう。

短歌とは？

短歌は、五・七・五・七・七の音の数に合わせて、自分が日常の中で気づいたことや感動したことを表現するものです。

短歌づくりのポイント

短歌は、決められた字数の中で表現するものです。自由に作ることができる詩よりもむずかしいと感じるかもしれませんが、次のポイントを参考にしてつくってみましょう！

① テーマを決めよう！

まずは、最近自分の心が動いたものを思い浮かべてみましょう。家族のこと。学校でのできごと。友達とのこと。どんなことでもかまいません。テーマが決まれば、次はそこで自分が感じた気持ちを考えてみましょう。

② 目立たせたい言葉を決めよう！

短歌は使える言葉の数が決まっています。自分の気持ちをより伝えるためにも、自分の気持ちが伝わりやすい言葉を決めて入れてみましょう。

③ 季節や自然の風景を取り入れてみよう！

季節を表す言葉を「季語」と言います。必ず入れなくてもかまいませんが、季節を感じる言葉や風景を取り入れてみると、自分の作品のイメージが広がりやすくなります。

こんな作品が入賞しているよ！

（低学年の部）

ミニトマト　下からじゅんに　色づいて　かぞくのぶんを　かぞえてもいだ

（中学年の部）

妹に　ゆずってあげた　母の手を　ねているすきに　そっとにぎった

（高学年の部）

あと二秒　シュートがえがく　放物線　祈る気持ちが　リングに届く

別紙2

ほかにもこんな短歌があるよ

（一年生）

おとうさん　パジャマのうえに　きるベスト　かってくれたよ　あったかいよ

学校へ　行ってきますと　ばあちゃんに　メールをすると「がんばってね」って

（二年生）

寒げいこ　八百メートル　走ったよ　ケガしてたけど　かんそうしたよ

とび箱で　三段とべて　うれしいな　次は四段　がんばりたいな

（三年生）

お母さん　泣き虫なんだよ　料理中　玉ねぎ切って　ウェンウェンウェン

クリスマス　初めて飲んだ　シャンメリー　大人の味を　一つおぼえた

（四年生）

あと少し　誕生日だよ　十歳だ　大きくなって　驚く自分

放課後と　休みの日には　サッカーだ　だれをさそうか　みんなで決める

（五年生）

六年の　ゼロ学期だと　先生に　言われて頑張る　気持ちになった

母さんの　けつろそうじを　お手伝い　大変だけど　やりがいかんじる

（六年生）

冬に咲く　視界いっぱい　打ち上げ花火　手をのばしたら　届きそう

六年生　卒業式まで　あとちょっと　思い出たくさん　よみがえってくる

自分の学年の作品を参考にしてみるといいよ。
例は冬の作品が多いね。今の季節だったらどんな短歌をつくるかな？考えてみよう！